



災害時のために町で準備している備えを紹介するモ〜

もしもに備えて～町の災害対応策～

- ①マンホールトイレ (設置イメージ)
- ②バリアフリー対応トイレ
- ③シャワー室
- ④備蓄食料 (一部)



※食物アレルギーに対応した食料も一部備えています。

町災害時用備蓄食料一覧

品目	個数
味付きご飯	1,200
パン	1,440
スープ等	612
野菜ジュース	300
計	3,552

防災訓練のお知らせ

町防災訓練を実施します。当日は、防災無線やエリアメール・SNS等を使った緊急広報訓練を実施しますので、町民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

- 日時 9月21日(土) 8時10分頃
- 内容 防災無線、エリアメール、LINE、X、Facebookで町からのお知らせを配信します。
- 問い合わせ先 総務課 ☎62-2111

Interview



鏡石町女性消防隊 副隊長
ほんま としえ 本間 敏恵 さん

地震や台風など、災害による危険はいつ自分や家族の身に降りかかってくるかわかりません。非常時にできるだけ生活していくうえで困らないよう、生活必需品などは常にまとめてすぐに出せるように備えています。皆さんも、防災リュックを用意して、定期的に中身をチェックするようにしましょう。

女性消防隊は、防災等の啓発活動を行い、火災や災害を未然に防ぐことを目的として活動しています。興味のある方は、町総務課までお問い合わせください。

【非常持ち出し品一覧】

- 懐中電灯 携帯ラジオ
- 貴重品 (現金、通帳、印鑑、パスポート等)
- 救急医療品 (傷薬、ばんそうこう、常備薬)
- 非常食 (缶詰や乾パン等)
- その他 軍手、ナイフ、ティッシュ、下着、ヘルメット、携帯電話のバッテリー、予備のマスク等



わが町の災害への備え

昨年10月に開館した町健康福祉センターは、シャワー室や授乳室を備えているほか、屋外には、マンホールトイレも設置できるような施設となっています。また、建物がバリアフリー

対応となっており、高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児などが安全かつ適切な支援を受けられることのできる福祉避難所としての役割も果たせるようになっていきます。町では、災害時に備えて食料や日用品などを備蓄しています。備蓄品は定期的に点

検し、有事の際にすぐ使用できるように常に最新の状態で管理しています。また、食物アレルギーに対応した食料も備えています。このように、町では、災害時に誰でも安心して避難生活を送ることができるよう、万全の準備を整えています。



命を守るために日頃から備えを

9月は防災月間です。平成23年の東日本大震災、令和元年東日本台風による水害、その後も大きな地震が頻発するなど自然災害により、鏡石町でも甚大な被害が発生しています。災害時の被害を最小限に抑えるためには、これらの教訓を生かし、日頃から台風や地震などの災害について知識を深めるとともに、一人ひとり備えることが大切です。今月号では、災害時の備えについてお知らせします。

自助・共助の強化

災害に立ち向かうためには、「自助」「共助」「公助」の連携が非常に大切になります。

その中でも、災害発生の初期において、もつとも大切になるのは、自分や家族の命と財産を守るために、自分自身で防災に取り組む「自助」と、災害時に、自分や家族の安全を確保した後、地域の人や企業と助け合う「共助」です。自らの命は自らが守るという意識をもって日頃の備えやいざというときの避難など、命を守る対応を自ら判

断して行動に移しましょう。まずは自分自身が助からなければ、周りを助けることはできません。身を守るために様々な情報を自らつかみましょ。

緊急時にどういった行動を取るべきかが分かる「避難行動判定フロー」があります。状況に合わせた行動をチェックして緊急時に備えましょ。地震などの広域災害では、消防や警察が直ちに全ての災害現場に向かうことができません。「公助」が行き届くには時間がかかります。そこで、助け合いである「共助」

避難行動判定フロー

～とるべき行動を確認しよう～



が大切になります。共助は、地域全体の安全確保に向けた取り組みです。地域住民が防災意識を共有し、情報の共有や協力体制の構築を行うことで、災害が発生した際の混乱を最小限に抑えることができます。地域住民同士が助け合うことで、より強固なコミュニティ

二ティーが形成されること期待されます。地域全体が一丸となって防災に取り組むことで、より安全で安心な社会の実現につながります。町防災ハザードマップなどで地域の危険箇所を共有し、定期的な訓練や情報共有を行うことで、災害時の対応力を高めましょ。